

Tsumoo

構想整理（公開用）

フェーズ1 MVP / 制作中

| 項目 | 内容 |
|--------|-------------------------|
| 製品名 | Tsumoo |
| 読み方 | つもー |
| 文書種別 | 構想整理（公開用） |
| 対象フェーズ | フェーズ1 MVP |
| 公開用途 | 制作中プロダクトのコンセプトと方向性を示すため |
| 最終更新 | 2026年6月5日 |

公開用資料について

本資料は、Tsumoo の開発初期に作成した構想整理をもとに、外部公開に適した範囲へ抜粋・再構成した圧縮版です。

実際の開発用資料には、より詳細な検討過程や内部向けメモを含みますが、本資料ではプロダクトのコンセプト、体験方針、フェーズ1 MVP の方向性が伝わる内容に整理しています。

目次

| 章 | 内容 | 頁 |
|---|----------------------|---|
| 1 | サービス名と由来 | 4 |
| 2 | コンセプト | 4 |
| 3 | プロダクトの方向性 | 4 |
| 4 | 大事にする体験 | 5 |
| 5 | 利用シーン | 5 |
| 6 | スマホとPCの役割 | 6 |
| 7 | 個人情報・アカウント方針 | 6 |
| 8 | フェーズ1 MVP の方向性 | 7 |
| 9 | 将来構想 | 7 |

1. サービス名と由来

サービス名は Tsumoo (つもー) とする。

名称は「積もう」から取り、毎日の小さな完了や行動を、無理なく楽しく積み上げていく意味を込める。

2. コンセプト

今日の「できた」を積もう。

Tsumoo では、タスクをこなすことだけではなく、小さな完了を積み上げている感覚を大切にします。

3. プロダクトの方向性

Tsumoo は、毎日の小さな ToDo や、仕事・学習で使う少し重いタスクを手軽に記録し、完了した行動を気持ちよく積み上げ、あとから振り返れるセルフマネジメントアプリとする。

単純な ToDo CRUD の実装を目的とせず、タスク作成、完了、振り返りの一連の体験を設計し、日常的に使い続けられるアプリとして構築する。

4. 大事にする体験

- 入力は速い
- 完了は気持ちいい
- 振り返りは強い

入力時は、タイトルだけでも作成できるようにし、詳細、実施予定、期限などは任意入力にする。

完了時は、押すこと自体が少し楽しくなる UI を目指す。

振り返りでは、今日や直近の積み上げが見える状態にする。

5. 利用シーン

- 朝に今日やることを確認する
- 思いついた ToDo をすぐ登録する
- 仕事や学習で使う少し重いタスクをステータスで管理する
- 作業後にすぐ完了する
- 夜や週末に、できたことを振り返る
- PC でタスクや目標を整理する

6. スマホとPCの役割

スマホでは、即時追加、即時完了、ToDo 一覧の確認を重視する。

PC では、整理、計画、振り返り、分析を重視する。

単なるレスポンス対応に留めず、利用シーンに応じて画面体験を分ける。

7. 個人情報・アカウント方針

フェーズ1では、個人情報を極力持たない。

- 本名は扱わない
- 住所は扱わない
- 電話番号は扱わない
- 生年月日は扱わない
- 勤務先情報は扱わない
- 公開プロフィールは扱わない
- ユーザー同士のやり取りは扱わない

ログインに必要な最小限の情報のみを扱う。

アカウント設定では、ログイン、ログアウト、メールアドレス変更、パスワード変更、退会など、利用に必要な範囲を扱う。

8. フェーズ1 MVP の方向性

フェーズ1では、機能を広げすぎず、チェック型 ToDo と軽量なステータス型 ToDo を中心にする。

チェック型 ToDo は、タイトルだけでも作成できるようにする。詳細、実施予定、期限は任意入力とし、必要な場合だけ追加できるようにする。

ステータス型 ToDo は、仕事や学習で使う少し重いタスクを最低限のステータスで管理するための軽量化として扱う。

スマホでは、入力項目を上部に絞り、必要な詳細項目は下へスクロールして入力できる構成を想定する。

9. 将来構想

- 習慣管理
- 目標管理
- 週次/月次の振り返り
- SNS 共有用の画像出力
- PDF 出力
- リマインダー
- ステータス型 ToDo の高度化

ただし、フェーズ1では機能を広げすぎず、入力、完了、振り返りの核を作る。